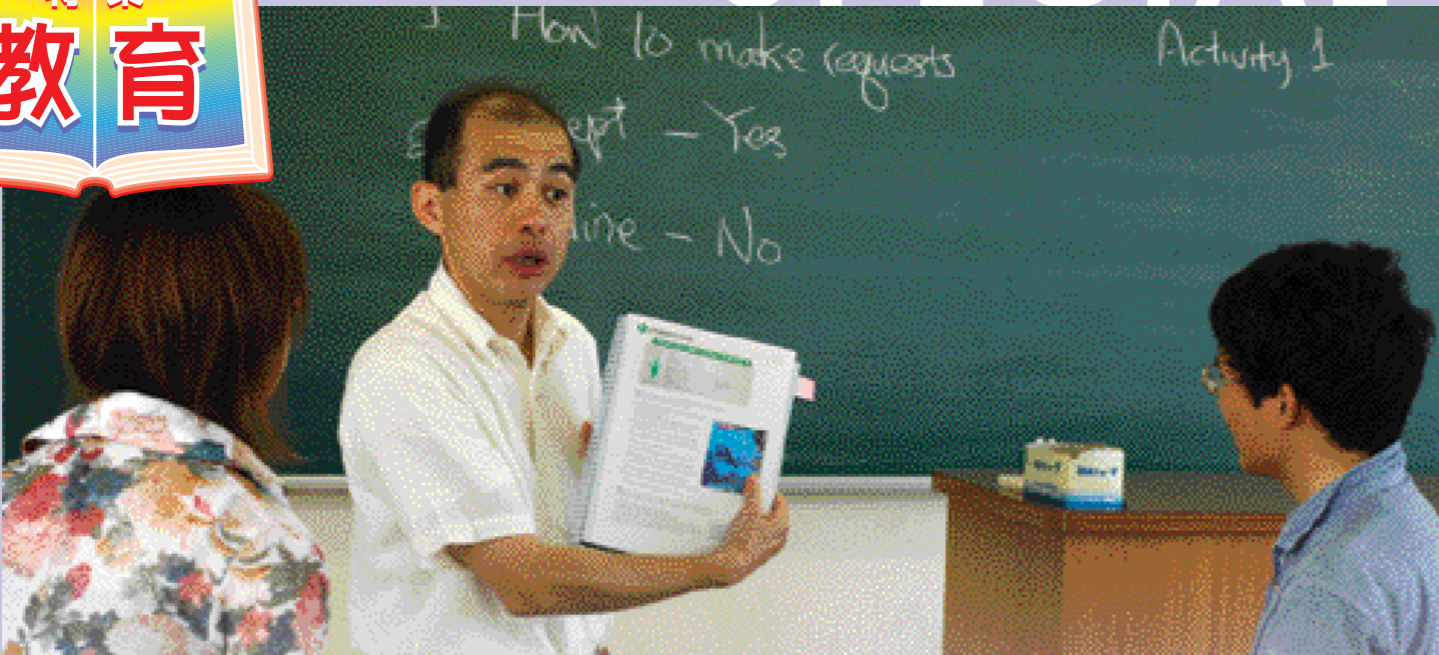




入学と同時に英語漬け。でも「英語ってこんなに楽しかったんだ!」ってきこえる...



## 三重大大学で英語に強くなろう!

### 1 使える英語が身につく!

三重大大学の英語教育※1は、これまでコミュニケーション力養成型でしたが、2005年4月に、TOEIC※2(トリーク)を取り入れたことにより、実践英語力養成型へとさらにパワーアップしました。

まず、1年次の間に、実践英語の基礎力を集中的に養成します。そして、その基礎力を土台にして、卒業までに、社会で通用する実践英語力を身につけることができるような授業も準備しています。

【※1】ここで言う英語教育とは?

各学部で行われている専門教育とは別に、三重大大学のすべての学部生が受けなければならない共通教育の英語教育のことです。外国語科目としては英語の他に、ドイツ語、中国語、フランス語、スペイン語、朝鮮語、ポルトガル語、ロシア語が開講されています。

なお、教育学部はTOEICを取り入れた実践英語力養成型カリキュラムを導入していません。

【※2】TOEICとは?

アメリカの標準テスト開発機関が作成している、信頼度の高いテストです。2004年度には、日本国内だけでも143万人がTOEICを受験しています。このTOEICは、国内の教育機関が入学や進級の基準として用いているばかりではなく、多くの企業が採用や昇進の際の基準として採用しています。

### 2 三重大大学の新しい英語教育はここが違う!

1年生の間は、英語漬け。週に3回の授業を受け、さらにコンピューター自習プログラムを使って週に1時間勉強します。週3回の授業の中の一つは、TOEICクラスです。TOEICのスコアにより成績がつきます。これは全国でも**初の試み**です。さらに、英語力別クラス編成なので、自分の英語力にあったクラスで授業を受けることができます。1年次の必修英語が修了した後も、英語のネイティブ教員による英語コミュニケーション力強化科目や、TOEICのスコアアップを目指した科目を受講することができます。在学中は、余計なお金を払って英会話学校に行く必要などありません。

### 3 新しい英語教育 学生達の反応は?

4月にスタートしたばかりの新しい英語教育ですが、授業を担当する教員からは、英語力別クラス編成のおかげで、学生達がこれまで以上に真面目に授業に取り組んでいる、という声が上がっています。出席率がほぼ100%の授業も珍しくありません。ひとりひとりが目標に向かって頑張っている。三重大大学の新しい英語教育では、普通に見られる光景です。

三重大大学共通教育センター実践部門英語分科会長  
三重大大学人文学部・教授  
Ayano, Seiki 綾野 誠紀

### 学生の声

三重大大学工学部物理工学科1年

森本 幸作  
Morimoto, Kosaku

コンピューターによる英語自習システムは、講義がない時間帯等、好きな時間に利用できとても便利です。レベル別の教材が豊富にあり、飽きがこないで、勉強ということを忘れて、楽しみながら学んでいます。



### 学生の声

三重大大学人文学部社会科学科1年

村田 葵  
Murata, Aoi

大変役に立つ集中型授業と、効率的な自習システムのおかげで、入学後たった2ヵ月の間に、TOEICのスコアが100点も上がりました。そのことで自信を持つことができ、英語学習に対する意欲がより一層高まりました。

